オルター通信

発行：オルター
無断転載はご遠慮ください
No.1977 2026年11月24日発行

オルター千早赤阪センター：〒585-0044　大阪府南河内郡千早赤阪村大字森屋962-1
TEL 0721-70-2266　FAX 0721-70-2299　HP https://alter.gr.jp　E-mail info@alter.gr.jp

Alter Resort Canan：〒585-0021　大阪府南河内郡河南町大字持尾744-1
TEL 0721-21-3030　FAX 0721-21-4293

1977号 主な記事

表ページ
- フィッシュコラーゲンに発がんリスクの可能性!?
- コラーゲン物語 その2

裏ページ
- 7/28 熊本地震のカンパについてご報告
- 土佐佐賀産直出荷組合、価格改定のお願い
- あまり語られないPFAS農薬とTFA問題の深刻さ
- スーパーメディカルマット使用の感想
- ナノミストサウナまつり 2026

フィッシュコラーゲンに発がんリスクの可能性!?

2026年、中国湖北省の養殖場で、禁止薬物マラカイトグリーンの違法使用が摘発されました。マラカイトグリーンは魚の寄生虫対策に使われますが、発がん性リスクから中国でも食用養殖魚への使用は禁止されています。中国には、2001年、2009年、2016年がん村というがん多発地域の存在が現地報道され、その村に近接して養殖池があります。多分養殖池から井戸水に発がん物質が漏れるためと思われます。さらに懸念されるのが発がんリスクのホルマリンです。

マラカイトグリーンと同様に魚の寄生虫駆除に使われ、主成分のホルムアルデヒドには発がん性があります。しかし、なぜか中国の禁止物質一覧には掲載されていません。大手がフィッシュコラーゲンと表記する原料は、主に中国の養殖ティラピアのウロコが原料です。養殖池には溢れんばかりのティラピアが群れを成しています。放置すると寄生虫で全滅するのでマラカイトグリーンとホルマリンを使用するのです。研究ではマラカイトグリーンとその代謝物が魚体内に残留することが確認されております。では、なぜティラピアのウロコが利用されるのでしょうか。原料価格が天然魚皮の10分の1だからです。

問題点は2つ。1、養殖ティラピアウロコから製造したコラーゲンに、発がん性薬物と塩酸の残留可能性。2、コラーゲン研究第一人者である藤本大三郎東京農工大名誉教授（故人）が、私に生前遺言のように明らかにした、ウロコからコラーゲン抽出の際塩酸処理で、コラーゲンの生理活性が破壊されると言う致命的な欠陥があります。これは藤本先生の研究結果であり、誰も論文は書いていません。ウロココラーゲンで機能性表示が取れるはずがないのにTVで機能性表示コラーゲンと言います。その訳は、論文では、実験室で使う高額なＥＤＴＡ処理（１ｋｇ12000円）により破壊されないコラーゲンでデータ取り、市販用では格安（１ｋｇ35円）な塩酸で破壊されたコラーゲンを販売するという、消費者に対しての重大な裏切り行為の可能性があります。消費者庁に指摘したら検討すると言います。高額でも天然魚皮コラーゲンなら酵素処理で塩酸も使わず、マラカイトグリーンもホルマリンも無く、120歳まで自立可能です。

引用：湖北省農業農村庁（2026年）、マラカイトグリーン残留研究、米国FDA水産用ホルマリン製剤資料。
注：本文は、10月31日開催のオンラインセミナーの内容の一部です。今後引き続きセミナーの内容を情報発信します。

コラーゲンの正しい飲み方：
1　空腹時にビタミンC（錠剤でもフレッシュジュースでも可）と一緒に飲んで、30分後に食事してください。
2　がん、動脈硬化、骨折、認知症予防、美容、バストアップ目的には、2－3本のんでください。骨粗鬆薬は骨折を予防しません。





お願い：私の名前は、一切外部に出さないでください、本内容は大手の秘匿情報なのです。暗い夜道を歩けなくなります。現在100名の女性を対象としたアンケート（フィッシュコラーゲンで魚のどの部位を想像するか?）実施中です。消費者庁に、回答を提出します。

（匿名寄稿）

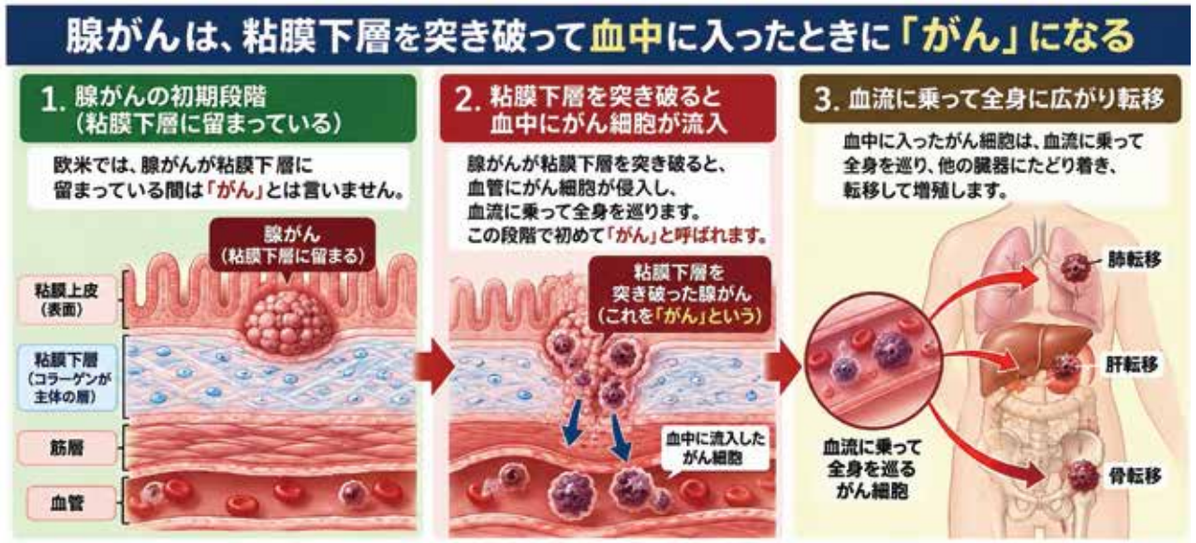
コラーゲン物語 その2

著者　石井　光
医師・医学博士・オルター顧問

天然魚皮コラーゲンで腺がんを予防する（石井 光理論）

がんの8割は腺がんです。腺がんの発がん機序（発がんする順序）を番号順に説明します。

1　腺がんは粘膜内に発生します。まだ粘膜内にあれば転移しません。
2　がんが粘膜から粘膜下層を突き破ると、血中にがん細胞が入ります。
3　血流に乗って、全身に広がります。
4　粘膜下層はコラーゲンなので、コラーゲン摂取すると堤防の決壊を防ぐことができ、がんの全身転移を防ぎます。



＜コラーゲンの正しい飲み方＞

健康維持には、一日1本。がん再発予防、骨密度上昇、動脈硬化改善、軟骨再生など治療目的には、2本から4本（症状に応じて）空腹時にビタミンCと一緒に飲むことを推奨します。夜寝る前、早朝空腹時と分けても大丈夫です。のんでから30分は食事しないでください。

（あくまで参考であり、効果を保証するものではありません）

《石井 光先生「コラーゲンのほんとの話」録画配信のご案内》

10月31日に開催した石井光先生のオンラインセミナーを、録画でご視聴いただけます。

75008 **視聴料金：100円（税込）**

視聴にはオンライン会議システム「Webex」を利用します。お申込みいただいた方に、視聴用URLをメールでお送りします。パソコンやスマートフォンからご視聴いただけます。

※12月2週号のＯＣＲ注文用紙かWEBでご注文ください　**企画週を間違えないようご注意ください**